

“めざそう笑顔のまちづくり”

とんぼんまわると

3月号

平成30年3月1日

発行 NO.134

三本木まちづくり協議会

発行責任者 会長 森 毅

「地域のことを 地域みんなで考え 地域みんなで解決していくために」

無病息災 家内安全 願いをこめて・・・



「育てよう 優しい心 強い意志」

「みんながね やさしくなれる そんな町」

青少年のための大崎市民三本木会議



子育て支援 センター

1月の
すくすくサロン
「雪あそびを
しよう!」▶



0歳児のサロンは参加者が増え、『ひよこ』▲と『りす』▼に

2歳児サロン▼



児童交流 センター

節分
豆まき

冬の運動会



2月2日(金)、玄関を入ると大きな青鬼が下がっている児童交流センターでは、1日早い『豆まき』をしました。3・4年生から立候補した『かわいい鬼』めがけて新聞紙の豆を投げて鬼退治!その後、自分の心の『鬼』の投票があり、一番多かったのは『怒りんぼ鬼』。しっかりやっつけられたのでしょうか!



ひまわり園



オダズナー参上!
LINEスタンプもだよ。

豆まき会と長のり巻き作り

ひまわり園では2月2日(金)に、3~5歳児がホールに集まり豆まき会が開かれ、オダズナーと一緒に、ほでなす將軍や鬼を退治しました。



1月30日(火)、絵本好きママたちがお気に入りの絵本を持参して『絵本だいすき!!』が開かれました。▼



なかよし広場▼



冬休みが終わり三学期の始業式の日、児童交流センター『冬の運動会』が開催されました。3チーム対抗の3競技のみですが、白熱した戦いが繰り広げられ、寒いホールなのに、汗をかいていました。勝利チームには賞品があり、他の子どもにも参加賞があって、大盛り上がりの楽しい時間でした。



5歳児がホールの端から端まで約23mの長のり巻きを作り、3~4歳児にごちそうしました。



三本木まちづくり協議会 3号委員（公募委員）を募集します

住民自治の向上と活力ある地域の創造に向けて、設置している「三本木まちづくり協議会」の第5期委員を募集します。委員は書類審査や男女比、年齢層などを考慮し、結果は全員に通知します。

◆任期 平成30年6月1日～平成33年5月31日（3年間）

◆対象 三本木地域内に住所を有する20歳以上の人
※大崎市議会議員、大崎市職員は応募できません。

◆定員 3人以内

◆応募方法 平成30年3月1日(木)～30日(金)に、所定の応募用紙に必要事項を記入し、「私の考える地域づくり」をテーマにしたレポート（800字程度）を添えて、三本木総合支所地域振興課（三本木大豆坂24-3）または、まちづくり推進課（古川七日町1-1）へ持参または郵送（必着）
※応募用紙は三本木地域振興課やまちづくり推進課で配布します。

また市ウェブサイト

（<http://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/10,0,170,360.html>）
からも入手できます。

◆問合せ先

三本木総合支所 地域振興課地域づくり担当 ☎52-2111

まちづくり推進課 地域自治担当・NPO担当 ☎23-5069

「あなたの意見が現実になるかもしれない！」 アンケート実施中！

【アンケートの目的】

三本木まちづくり協議会運営検討委員会では、まち協委員だけでなく、広く住民のみなさんと地域課題などをゆる～く、楽しく、ワイワイ、ガヤガヤと話し合いたいとの思いから『ワイガヤ三本木』を開催しました。第2回目は「人が集まる」をテーマに場所や事業について話し合いをした中で、今後地域のみなさんがどんな事に興味を持っているのかを知ったうえで進めていきたいとの意見がでたことを受け、住民アンケートを行うこととなりましたので、みなさんのご協力をいただきたくお知らせします。

★アンケート記入用紙と回収BOXは、下記の各公共施設とお店です

三本木総合支所・三本木公民館（館山ホール）・児童交流センター
三本木子育て支援総合施設ひまわり園・三本木中学校
（仲町）Yショップいとう三本木店・タガヤ・佐々広商店
（北町）JA古川南部支店・森新聞店
（新町）伊藤鮮魚店

第3回「ワイガヤさんぽんぎ」を行ないま～す！

◆日時 3月12日 19時～

◆会場 三本木総合支所 保健福祉センター 2階研修室

地域の行事

交通

産業

健康

子育て

普段の生活で感じた

“三本木への想いを”

一緒におしゃべりしましょう

安全・安心

くらし

福祉

主役：三本木のみなさん

主催：三本木まちづくり協議会 運営検討委員会

みんなで話し合いを体験！ 2018 きょうDo!のまちづくり文化祭

2月10日(土)、田尻沼部公民館軽運動場(文化センター)を会場に第4回まちづくり文化祭が開催されました。「若者のコミュニティ参加率の低下」や「担い手不足」といった地域課題解決のヒントを探ることを目的として約100名が集まりました。午前の事例発表では、田尻地域を活動の拠点としている青年組織からの活動発表と、大崎市の各まちづくり協議会から若者を対象として行われた活動の紹介がありました。三本木まちづくり協議会からは、尾出副会長が、「三本木中学校キャリアセミナー」の活動を紹介します。昼食をはさんで行われたワールドカフェ形式のワークショップでは「若者ががんばれるまちづくり」をテーマに活発な意見交換が行われました。

- ①あなたの考える「若者」とは？
- ②若者ががんばっている地域ってどんな地域？
- ③あなたが最近地域で感じることはどんなこと？



4コマ漫画

ひまわりのすけくん
作: だご

モチろ ひまわりは フライパン



▶ 三本木中学校キャリアセミナーの活動紹介をする三本木まちづくり協議会の尾出副会長

今年も楽しく交流！ 石巻市大原浜の御神木祭り

東日本大震災から6年11カ月に当たる2月11日(日・祝)に、石巻市大原浜で「御神木祭り」が行われ、「セントひまわりプロジェクト」と「すいせん植え隊」合同の被災支援交流活動に17名で参加してきました。

また、すいせん植え隊では、昨年秋からハウスで育ててきた「よく咲くスミレ」の花苗200本を、地域の方々にプレゼントしました。

三熊野神社での祈祷のあと御神木を乗せた山車(だし)を、2時間ほどかけて地元の方や、ボランティアなど約40名からなる人たちでお囃子を鳴らしながら綱を引き練り歩き、最後に海に流して、豊漁や家内安全、無病息災などを祈願しました。

その後、地区の生活センターで直会(なおりい)が行われ、三本木の民謡保存会の皆さんの余興に手拍子や声を合わせて唄い、祭り参加者同士の交流を深めあいました。



俳句

松過ぎのおやちの味のカレーかな

二本柳 力彌

再会を約す握手や冬ミウらら

浅川 好子

新年会十八番は無くて裕次郎

今 英雄

いざこざが残って初場所大入りに

阿部 和子

湯の宿や雪降る空に月のあり

西塚 芳夫

籠り居や餌台群れて寒すずめ

勝又 礼

大吉の御くじ引きけりお元日

佐藤 邦子

短歌

紅椿伐るか残そかためらいしに

つぼみをつけて雪中に立つ

伊藤 ふみ子

大寒波見渡す限りの大雪原

町人みんななまくらの中

佐々木 和子

妻とともに校門前に立つ「チロ」は

朝の交通パトロール犬

手代木 亮一

くる春の実りを守る静かさや

畑を眠らせ根雪降り積む

阿部 郁子

サンルームの曇りガラスにシルエット

陽光浴びる外猫のタト

鈴木 真子

行政区だより

仲町区では、例年正月三が日に新年会を開催してきましたが、三が日は不在がちな家庭が多く、参加者も年々少なくなってきていたことから、今年には多くの区民が参加ができるように、14日(日)に行うこととし約40名が参加し賑やかに新年を祝いました。



初めての試みとして「親子もちつき大会」を行い、子供たちは大きな杵に悪戦苦闘しながらがんばってついていました。ついたもちは、婦人部やお母さんたちの協力で「あんこもち」「きなこもち」「なとうもち」が出来上がり大人も子供もつきたてのお餅に大満足でたくさん食べました。新年会では、富澤区長の新年のあいさつに続いて「大崎市民憲章の唱和」、「保食八幡太鼓」の初打ちを披露した後、参加の児童にお年玉が配られました。その後参加の大人と子供と一緒に今年一年の区民の健康と親睦を深めました。



【蟻ヶ袋区】

1月28日(日)蟻ヶ袋コミュニティセンターを会場に23名が参加し、新年会が開催されました。佐々木区長の新年の挨拶の後、蟻ヶ袋の千葉隆明さん(75)がふるさとの歴史や文化を後世に伝えようと自主制作した、故郷を歌った叙情歌「ふるさと三本木」と「鳴瀬川」を熱唱しました。



【南新町区】

1月30日(火)の高齢者の集いでは百歳体操終了後には、歓送迎会の雰囲気づくりにとみんなで色紙でリングを作りました。



写真は、昨年12月19日(火)の「ちょっと早いクリスマス会」



2月3日(土)、南新町区子供会では、小学校に入学する新1年生と小学校を卒業する卒業生を対象に「歓送迎会」を開催しました。インフルエンザの蔓延により欠席者が出ましたが子供会からのプレゼントもあり楽しい会となりました。

三本木どんと祭



▲新年を祝い「愛宕の松」で鏡割り

1月14日(日)、午後4時から南町八坂神社において第25回三本木どんと祭が開催されました。メインイベントである裸参りでは、無病息災、商売繁盛を祈願し、商工会青年部を初め大崎市職員互助会や三本木まちづくり協議会、地元スポ少の子供たちなど総勢90名が参加し、商工会から八坂神社まで裸参りをしました。

八坂神社境内では、縁起餅まきやお楽しみ抽選会も行われ、縁起だるま、豚汁、焼きそばなど売店コーナーは、たくさんの人で賑わっていました。



食生活改善推進員になりませんか!? 食改さん募集のおしらせ

食生活改善推進員は“私達の健康は私達の手で”を合言葉に、食生活を通じた健康づくりのボランティアとして、地域や子供たちを対象にした様々な食育活動を行っています。

大崎市では、市民の健康増進を図るために食生活改善推進員を養成します。

興味のある方はお気軽に、三本木総合支所市民福祉課(☎52-2114)までお問い合わせください。



保健推進員第5回研修会

2年任期の保健推進員の最後の研修会が2月16日(金)に開催されました。

分散会を兼ねた今回は美里町の東順子さんを講師に、『癒しのハンドマッサージで身も心もリラックス』と題した講話と実技でした。ゆっくりとマッサージすることで、推進員として、家庭人として、頑張った自分を労いました。



協賛広告

有限会社 儀典社

〒989-6321 宮城県大崎市三本木字西沢2-5
TEL 0229-52-2401 FAX 0229-52-2706

◆家族葬198,000円から ◆ご遺体の搬送20kmまで16,000円
もしもの時24時間病院・自宅へお伺い致します

さんぼんぎねっと新年合併号で「三本木を語ろう」が20回をもちまして終了しました。お店や街並みなど当時の写真とともになつかしい話しをお伝えして参りました。知っているようで意外と知らない地元のこと。私たちが暮らす三本木の昔を知ることで、この土地を大切に思う気持ちを育み、愛着を持って暮らす住民が増えることを心より期待したいと思えます。前回の連載では多くの反響がありました。ご好評につき「三本木を語ろう II」として「寺院・神社編」を平成17年3月31日に発行された「三本木の歴史」を参考にご住職、宮司、など関係者の方々からお話をきいて、紹介して参ります。



明治20年代に志田郡内（三本木・松山・鹿島台）の各寺院より書出された「宮城県寺院明細帳」によると、郡内には当時33の寺院が置かれていました。これを開山の年代から見ると慈眼寺がもっとも古く文治元年（1185年）で、旧古川市柏崎の安国寺が興国元年（1340年）、次いで三本木新沼の園通院が応永元年（1394年）となっています。



四子の碑



獣名碑 愛猫、愛犬の名前が刻まれている



獣魂供養塔

◆その1 牛袋山慈眼寺

牛袋山慈眼寺は北町にあります。住所は三本木字町浦になります。ご本尊は釈迦牟尼仏、宗派は曹洞宗道叟派、本寺は稲祝山富光寺（大崎市古川）ということです。（「三本木の歴史」に記載されている山形県の総光寺は富光寺の本寺だということです。）由緒については、文治元年（1185年）に他宗派の慈眼雪翁和尚が開山したと伝えられているということです。その後永禄十年（1567年）に曹洞宗のお寺として再興され今日に至っているとのことです。境内に建武元年建立の供養碑と四子の碑があるという案内があります。四子の碑は現在の護持会長の二郷宗男氏の先祖の方が建立したということです。現在の住職は27世梅澤正靖氏が副住職が信隆さん、二郷宗男氏が護持会長です。

墓地の北東の隅に獣魂供養塔があり、亡くなったペットの名前を刻む獣名碑もあります。亡くなった愛猫、愛犬のお骨を収め、名前を刻んでくれるようです。詳しく見たことはなかったのですが、今回行ってみたとところ近所で飼われていた懐かしいペットの名前もあり、思わず手を合わせてきました。



昨年7月17日に行われた水子観音大祭の様子（寺報・慈雲より）



昨年8月13日に行われた盂蘭盆合同供養。慈眼寺の孫二人も参加して執り行われました。（寺報・慈雲より）

年間の主な行事は春彼岸、秋彼岸の施餓鬼供養のご法要、お盆に行われる盂蘭盆合同供養、7月には水子観音大祭も執り行われます。

また、大晦日から新年になる夜中に毎年元朝祈禱として檀家の皆さんが慈眼寺に集まり新年の家内安全を祈る祈禱も行われています。慈眼寺だよりの「慈雲」も発行され、檀家の皆さんに仏教のことやお寺のことなどを解説するなど、内容豊富な読み物となっています。ちなみに我が家も慈眼寺の檀家となっています。

取材・文責 伊東 仁

平成30年度おおさき市民健診の申し込みは、お済みですか？

すでに大崎市から郵送した「平成30年度おおさき市民健診申込書」に、申し込む健診(検診)に ○(まる)をつけて投函するか、市民福祉課に提出願います。申し込まない場合でも、受けない理由を記入して提出願います。申し込みのあった健診(検診)については、三本木地域総合健診の前に受診票をお送りします。

◆問合せ 市民福祉課 ☎52-2114

健診は、病気の芽を小さなうちに
見つけます。
自分のために、大切な家族のため
に、健診を受けましょう！



学習センター図書まつり

◆日時 3月10日(土)

◆場所 三本木学習センター

※駐車スペースが少ないので、旧役場の駐車場
をご利用ください。

◆内容

●本のリサイクル市 9時15分～16時30分 談話室
保存年限の過ぎた雑誌を譲ります。(ひとり5冊まで)
※持ち帰り用の袋を持参してください。

●わくわく工作タイム 9時30分～12時 学習室
折り紙や身近な物を使って、小さいお子様でも作れる
楽しい工作教室です。

何を作るのかな♪ お楽しみに♪♪

(申込み不要です。どなたでもどうぞ！)

●おはなしの森(読み聞かせ) 9時30分～12時 和室
『虹の会』のみなさんのステキな本の読み聞かせで
す。小さいお子様にオススメです。親子でどうぞ♪
(申込み不要です。どなたでもどうぞ！)

●2017年話題の本コーナー 終日 図書室
学習センターでは毎月新刊を購入して、2017年の
話題の本も多数所蔵しています。もちろん貸し出し
も可能です。～ぜひ、ご覧ください♪～

◆主催 三本木公民館 (☎52-5852)

大崎市 こころの健康講座 開催について

身近にある病気について、症状や治療等について学
びましょう。

◆内容 「統合失調症について知ろう」

◆講師 北部保健福祉事務所保健医療監 兼
大崎保健所長 西條 尚男 先生

◆日時 3月15日(木) 午後1時30分から3時
(受付は1時15分から)

◆会場 古川保健福祉プラザ 2階 多目的ホール
(費用は無料です)

◆申し込み・問い合わせ先 市民福祉課 ☎52-2114

春の全国火災予防運動 3月1日～3月7日

住宅用火災警報器を点検しましょう！

せっかく取り付けた住宅用火災警報器も、いざとい
う時に正常に作動しなければ意味がありません。

万が一、火災が発生した場合、きちんと作動するよ
うに日頃からお手入れと作動確認をしておきましょう。

大崎広域防火標語

未来まで

燃やしてしまう 小さな火

古川消防署 三本木出張所

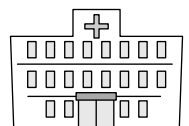


休日・夜間診療案内

休日当番医・歯科医及び夜間急患センター等の休日や夜間において受診可能な医療機関の情報を
提供しています。(通常診療時間内については、医療機関名等をお知らせしていません。)

◆連絡先：大崎医療圏 ☎0229-24-2267

◆携帯電話からも確認できます。 <http://www.city.osaki.miyagi.jp/m/>



三本木地域のミニ統計

平成30年2月1日現在
人口 7,968人 (-16)
男 3,969人
女 3,999人
世帯数 2,704戸 (-1)
()は前月との比較

ごみ収集カレンダー

(種 別)	(回収日)	
もやせるゴミ	毎週(月・木)	左記の回収日 が祝祭日でも 回収します
もやせないゴミ・資源物(リサイクル)	第1・第3(火)	
プラスチック製容器包装	第1・第3(火) ※新町、南新町区は月4回 (第1～第4)	

三本木まちづくり協議会

〒989-6321 宮城県大崎市三本木字大豆坂24-3
三本木総合支所地域振興課内 ☎: 0229-52-2111 FAX: 0229-52-5840

「さんぼんぎねっと」は毎月月初めに発行